

近畿ブロック会議（令和3年8月27日・奈良県主催によるオンライン開催）

参加者は約100名。開催府県の奈良県を代表して、大原敏敬奈良県会長が開催の辞を述べ、近畿ブロック協議会会長として清水尚道大阪府理事長があいさつ、その後、福田益和全専各連会長が6月16日の全専各連定例総会・理事会で承認された令和3年度事業計画（重点目標）、特に職業実践専門課程への支援をめぐる状況について説明するとともに、令和4年の参議院議員選挙の候補者として全専各連が団体推薦する山谷えり子参議院議員への応援を呼び掛けた。次いで、来賓を代表して奈良県知事の祝辞（代読）が披露された。その後、山谷参議院議員がお祝いの言葉とあわせて、職業教育を支えている専修学校を引き続き支援していきたいと述べた。来賓及び各府県会長の紹介の後、赤池誠明参議院議員からお祝いの言葉並びに、議員連盟総会に提出された全専各連要望事項についての対応状況が報告された。続いて、奈良県専各主催記念講演会が行われた。大原奈良県会長がコーディネーターを務め、大阪経済大学教授山下朗氏、奈良歯科衛生士専門学校理事長・奈良歯科医師会会長末瀬一彦氏、奈良保育学院学院長・前奈良市教育長中室雄俊氏らがパネリストとして登壇し、「ポストコロナ時代における学校の役割について～文化息づく奈良で学ぶ価値～」をテーマに講演が行われた。

小憩後、「コロナ禍における各校の効果的な取り組みについて」をテーマに3校の事例発表が分科会方式（チャットによる質疑応答あり）で行われた。事例発表のテーマと発表者は以下の通り。

- (ア)「ミレニウム世代の校長が推進する with コロナ時代の職業教育」
～法人としてより良い変化を生み出し、新しい価値の創出のために
オール大和学園で取組んだ事例～
（学）大和学園 京都調理師専門学校／京都製菓製パン技術専門学校
- (イ)「コロナ禍でのオンライン授業移行による ICT化の取り組み」
～BYDO（1人1台端末）化・短期留学プログラムのオンライン実施や
登校できない生徒へのサポート～
大阪 YMCA 国際専門学校
- (ウ)「リカレント教育におけるオンデマンド授業の取り組み」
～社会人教育の中でのオンデマンドシステム導入のメリットおよび
デメリット～
森ノ宮医療学園専門学校

事例発表終了後、文部科学省専修学校教育振興室の岡貴子室長から祝辞並びに行政報告として、配布資料に基づき専修学校教育の振興施策として令和3年度文科省専修学校関係予算、コロナウイルス感染症への対応、職業実践専門課程等を通じた質保証・向上、リカレント教育、修学支援制度等について説明。引き続き全専各連事務局が全専各連活動報告として、令和3年度事業計画について計画立案方針として昨年度から引き続きコロナウイルス対応を重視したものであること、重点目標の内容とその対応状況について説明。また、現在文科省で開催されている「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」の状況説明を行うとともに、国の動向を注視することの必要性や、各種制度への積極的な対応を呼び掛けた。続いて、前鼻英蔵全国専門学校青年懇話会会長からの懇話会の案内が行われた。その後、次回開催県である和歌山県坂本順一会長からあいさつが行われた。最後に奈良県中室副会長から閉会のあいさつが述べられ全日程を終了した。